

## 6 (参考) 各地区の空間利用のイメージ

中城湾港にて展開される主要施策に基づき、各地区における空間利用計画（ゾーニング）を以下のとおり設定した。

なお、主要施策 I の「15 海洋性レクリエーション需要への対応と水際空間の有効利用」、主要施策 J の「17 港湾施設等の戦略的な維持管理の推進」、主要施策 O の「25 環境・景観に配慮した港湾施設整備」と「26 多様な生物等の保全、自然との良好な触れ合い環境の保全・創出並びに利活用の促進」などは、地区毎に設定する空間利用計画（ゾーニング）を超えて、中城湾港全域で取り組む施策とする。

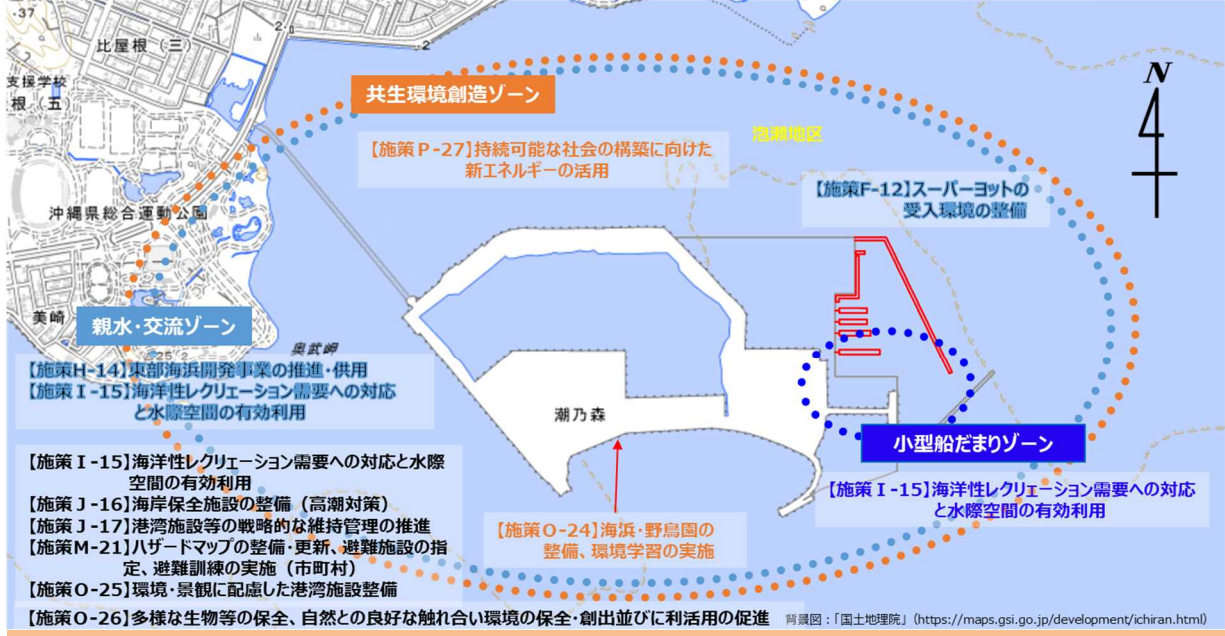
### (1)新港地区

<ul style="list-style-type: none"> <li>効率的で生産性の高い物流ターミナルの形成に向けて、既存施設の再編・強化を行うとともに、引き続き航路の新設・拡充に取り組みつつ、RORO船やPCC等に対応する施設整備など、船舶・貨物・荷役特性等を踏まえた効率的な物流断面の確保に取り組む。</li> <li>海上物流に関わる官民が連携し、ハード、ソフトの両面から、効率的なサプライチェーンの形成を支援する取り組みを推進する。</li> </ul>	⇒	物流・産業振興ゾーン
<ul style="list-style-type: none"> <li>人流と物流の輻輳を解消するため専用のクルーズターミナルの整備に取り組む。</li> </ul>	⇒	親水・交流ゾーン
<ul style="list-style-type: none"> <li>船だまりの機能充実及び領海警備体制の支援を図るため、小型船だまり機能の強化に取り組む。</li> </ul>	⇒	小型船だまりゾーン
<ul style="list-style-type: none"> <li>環境負荷の少ないエネルギーの活用や、静脈物流ネットワーク活用による廃棄物の資源化等により、脱炭素社会・循環型社会の構築に取り組む。</li> </ul>	⇒	共生環境創造ゾーン



## (2) 泡瀬地区

・交流拠点形成に取り組むとともに、スーパーヨットを見据えたマリーナ整備など、海洋性レクリエーション需要への対応に取り組む。	⇒	親水・交流ゾーン
・マリナクティビティ拠点としての船だまり機能強化に取り組む。	⇒	小型船だまりゾーン
・環境負荷の少ないエネルギー活用により、脱炭素社会の構築に取り組む	⇒	共生環境創造ゾーン



## (3) 熱田地区

・引き続き地元水産業等の振興を支援するとともに、マリナクティビティ拠点としての港湾機能強化に取り組む。	⇒	小型船だまりゾーン
---	---	-----------



#### (4)中城地区

・エネルギー拠点の形成を図る。

⇒ 物流・産業  
振興ゾーン

・環境負荷の少ないエネルギー活用により、脱炭素社会の構築支援に取り組む。

⇒ 共生環境  
創造ゾーン



#### (5)小那覇地区

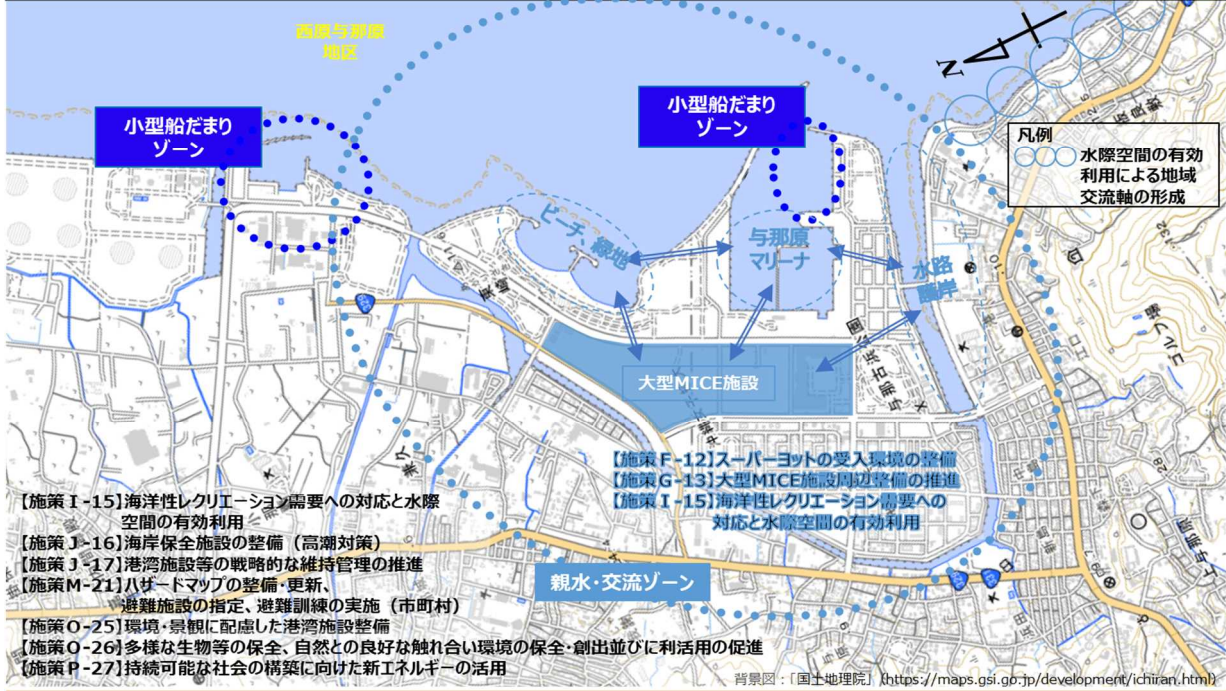
・エネルギー拠点の形成を図る。

⇒ 物流・産業  
振興ゾーン



## (6)西原与那原地区

- ・大型MICE施設を中心とした魅力あるまちづくりへの対応やスーパーヨットも見据えたマリーナ整備、海洋性レクリエーション需要への対応に取り組む。 ⇒ 親水・交流ゾーン
- ・引き続き地元水産業等の振興を支援し、マリンアクティビティ拠点としての港湾機能の強化に取り組む。 ⇒ 小型船だまりゾーン



## (7)馬天地区・佐敷東地区・仲伊保地区

- ・引き続き地元水産業等の振興を支援するため港湾機能の強化に取り組む。 ⇒ 小型船だまりゾーン
- ・エネルギー拠点の形成を図る。 ⇒ 物流・産業振興ゾーン
- ・海洋性レクリエーション需要への対応に取り組む、親水性のあるウォーターフロント空間の創出に取り組む。 ⇒ 親水・交流ゾーン



## (8)知念地区・安座真地区

- ・引き続き地元水産業等の振興を支援するとともに離島への玄関口としての港湾機能強化に取り組む。 ⇒ **小型船だまりゾーン**
- ・海洋性レクリエーション需要への対応に取り組み、親水性のあるウォーターフロント空間の創出に取り組む。 ⇒ **親水・交流ゾーン**



## (9)津堅地区・アギ浜地区

- ・引き続き地元水産業等の振興を支援するとともに離島の玄関口としての港湾機能強化に取り組む。 ⇒ **小型船だまりゾーン**

